

麻生リハビリ総合病院だより



緑生会 理念

常に最善を飽くことなく追求し 質の高い安心の医療を提供する

病院全体で **ユマニチュード** に取り組んでいます！

世界人権宣言では、「すべての人間は、生まれながらにして自由であり、かつ、尊厳と権利とについて平等である。人間は理性と良心とを授けられており、互いに同胞の精神をもって行動しなければならない。」(世界人権宣言第1条)



と定めています。

当院では2023年春から「ユマニチュード」への取り組みを始めました。認知症を始め、ケアを必要とするすべての患者様が「自立」と「自律」できるリハビリテーション病院を、病院全体で目指します。

8月には、ユマニチュード認定インストラクター2名をお招きし、院内全体研修「ユマニチュード講演会」を開催。ユマニチュードの基本である「人間らしさ」とは何か?に始まり、講師の方の体験談や実践に向けた具体的な技法などを受講し、

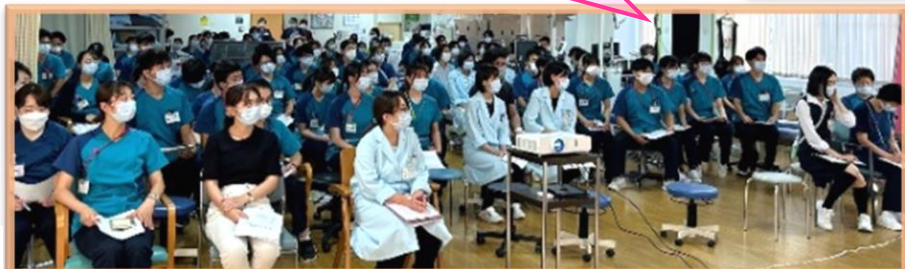
視野が狭くなっている方に対して、驚かさないうように、しっかりと「目と目を合わせる」方法を体験しながら学びました。

ユマニチュードへの第一歩を踏み出す準備が整いました。

9月以降には病棟での実践的な研修も行われ、日本ユマニチュード学会の認証準備会員としても、職員の習熟度をさらに深めていけるよう取り組んでおります。

メイン会場と、2か所のサテライト会場を繋げて行われました！

188名が参加しました。

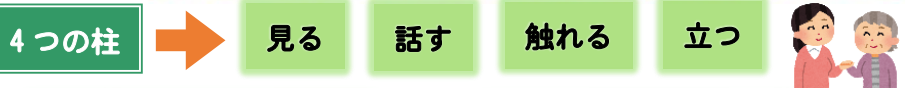


◆ユマニチュードとは…

「ユマニチュード」とは、ケアが必要なあらゆる方、特に身体的に脆弱な高齢者の方や認知機能の低下している方々に対して有効とされる、「知覚」「感情」「言語」による包括的コミュニケーションに基づいて行うケアの技法と哲学です。

人は「見る」「話す」「触れる」ことによって人として認められます。また「立つ」ことによって生理学的な効果のみならず、その人らしさ、つまりその尊厳が保たれることから、4つの要素「見る」「話す」「触れる」「立つ」を「4つの柱」としてしています。

そして、「ケアの5つのステップ」で構成するケア・コミュニケーション技法を用い、ケアを1つの物語のように一連の手順で行います。



Pick up!

一日看護体験

7月27日、4年ぶりに高校生を対象とした「1日看護体験」を実施いたしました。本年は看護師を目指す6名の高校生から応募があり、当院の看護師が企画した様々な看護体験をしていただきました。



血圧測定



入院患者様との交流



ガウンテクニック



車いす乗車体験



とろみ飲料の試飲



★記念撮影★



実際に体験してみて、看護師を目指す気持ちがより強くなったなど前向きな感想をもってもらうことができました。当院では引き続き地域の皆様との交流ができるよう、様々な活動を行ってまいります。



♪♪ 新入職員 インタビュー ♪♪ 理学療法士

今年の新入職員の中に、中学校の職場体験で当院に来ていた方を発見しました！

当院での職場体験を通して、今まで知らなかった職種があることを知り、その中でも理学療法士を目指しました。この春、夢を叶えて理学療法士となり、当院に職員として戻って来てくれました。

素敵なお縁があって入職された職員に、色々な質問に答えていただきました。

Q,子どもの頃の夢は？

パン屋さん・駄菓子屋さんです。



Q,職場体験で病院を選んだ理由は？

看護師の仕事に興味があったからです。



Q,職場体験でのエピソードを教えてください。

職場体験に来た頃は、医師・看護師以外の職種を認識していませんでしたが、病院内にはたくさんの職種の方が働いていることに驚きました。理学療法士の見学時にやりがいを尋ねたら、「ある出来事をきっかけに突然動けなくなり、暗い顔をされていた方が、退院時に笑顔で歩いて帰っていく、そんな姿を支援できる事です」とおっしゃっていて、その言葉に感銘を受けました。自分の仕事に誇りを持ち、楽しそうに患者様とお話されていた姿は今でも忘れられず、私の憧れです。この出来事がきっかけで理学療法士を目指そうと思いました。

Q,ズバリ!入職してみてどうですか？

先輩や同期がとても優しいです。業務・治療・私的なことも相談しやすい環境で、居心地の良い職場だと感じています。

Q,仕事のモットーは？

患者様にリハビリを楽しんでいただく！

Q,当院のお気に入りスポットは？

病院正面玄関の花壇です。
お花がきれいに咲いていると患者様も笑顔になり、自分もうれしくなります。

Q,好きな言葉は？

自分らしく ♪



「当院の魅力を発掘調査」～職員アンケートからみえたもの～

Part 1

2023年7月に「当院のここが素晴らしい!」をテーマに広報委員会アンケート調査を実施しました。当院で働く職員から様々な意見やエピソードが集まりました。

Q. 当院に入職して良かったことは？

先輩・上司がやさしい

チーム医療に取り組みやすい

医師も含めてみんな話しやすいので連携がとりやすい

色んな年代、色んな職種の方と一緒に働ける

患者様と同僚との出会い

先輩方が見守ってくれていて安心して働ける

看護も医療も介護も学べる

ワークライフバランスが良い

多職種とのかかわりが多く、学びが多い

職場の雰囲気がとても良い

患者様に向き合う時間がもてる


終業後に自己学習の時間がとりやすい

認知症の知識が深まった



Q. 趣味や特技、変わった資格や経験などがありますか？




趣味

- 海外サッカー観戦!! 
- 音楽鑑賞
- ハンドメイド(編み物・レジン)
- 料理(お店のメニュー再現)
- メダカの育成

資格

- スキューバダイビングのインストラクター 
- 中高教諭免許
- 学芸員資格 
- 唎酒師の資格

その他

- 足のマッサージ 
- お神輿を担いでいます
- ガンジス川へ一人旅
- 幽体離脱したことがある
- 模試で全国3位になった
- 前職はメンテナンス業者
- 神奈川県13歳元巡り制覇
- 投資の勉強中です




Q. 当院の職員で素晴らしい人、見習いたい人はいますか？



医師の名前をあげる職員が多い結果となりました。

当院では患者様へ質の高いリハビリテーションを提供する為に、チーム医療を実践しています。医師をはじめ、多職種がそれぞれの専門性を発揮して協働しているのが当院の魅力です。

いつも 誰にでも

- いつも笑顔で接してくれる人 
- いつも冷静な対応をしている人
- 誰にでもやさしく、おだやかな人 
- 誰にでも細やかな気遣いができる人 

- 患者様に対して丁寧な説明を行っている人
- 職員に対しても丁寧な言葉使いで接している人
- 仕事が丁寧で早い人

ていねい 丁寧



今回アンケートでお名前のあがった職員は、「いつも・誰にでも」、「丁寧な対応」を実践している方々でした。「あの職員のことかな?」と思っていただけの方もいるかもしれません。

身近にいる職員の素晴らしい対応を見習って、時間や気持ちに余裕がない時こそ、『一呼吸置いて』丁寧に対応することを心がけたいです。(広報委員編集担当)

当院の魅力を少しでもお伝えできたいでしょうか? 次号、職員アンケート結果 Part2を掲載予定です。



栄養面でリハビリテーションを行う患者様を支えます！



栄養科の主な三つの業務

- ・給食管理業務 毎日の食事を安全に提供するための業務です。
- ・栄養管理業務 患者様の栄養状態を良好に保つための業務です。
- ・退院支援業務 退院後の生活をより良いものにするための業務です。



栄養科の役割は、患者様の身体機能を高められるよう栄養面のサポートを行うことと考えています。スポーツ選手がパフォーマンスを最大限発揮できるよう栄養面のサポートを導入していることと同様に、患者様がしっかりとリハビリテーションに励めるよう、管理栄養士と調理師が連携して栄養バランスの整った食事を提供し、栄養面から入院生活を支えます。

回復期リハビリテーション病棟では、急性期病院に比べて長い時間リハビリテーションを行います。入院期間が長くなる患者様も多く、入院中に活動量や状態が大きく変化することがあり、患者様一人ひとりに適した栄養を提供できるよう食事内容の見直しを行うこともあります。また、患者様やご家族様と栄養指導（栄養相談）の時間を設け、摂食や嚥下の状態に応じて、食事への様々な不安や疑問にお答えいたします。食生活をより良いものにするために、栄養面だけでなく、退院後の食事を準備する方の環境や病気の再発予防などについてもご相談に応じております。

管理栄養士が関わることで、健康状態や日常生活がより良くなった、と実感していただけるよう、今後も患者様一人ひとりに寄り添ったご提案を心がけてまいります。



入院患者様にとって食事の時間は

1日の楽しみでもあります。

イベント食等、季節感を楽しんでいただけるような食事の提供も行っております。



診療実績のご報告

【直近6ヶ月(2023年1月~2023年6月)の診療実績報告です】

在宅復帰率（退院先内訳）

在宅復帰	退院先	2023年1月~2023年6月	
		人数	割合
	自宅	280人	69.1%
	特別養護老人ホーム	9人	2.2%
	有料老人ホーム	35人	8.6%
	介護医療院	0人	0.0%
	グループホーム 高齢者向け住宅	9人	2.2%
	慢性期病院	33人	8.1%
	介護老人保健施設	34人	8.4%
	その他	5人	1.2%
	合計	405人	100.0%
	一般病棟への転院	25人	6.2%
	在宅復帰 合計	333人	82.2%

その他：他科への転棟（一般病棟除く）など

回復期リハビリテーション病棟入院料1の実績要件		当院の診療実績
リハビリテーション実績指数	40以上	50.4
自宅等に退院する割合	70%以上	82.2%
重症患者の割合	40%以上	46.8%
退院時の日常生活機能評価（FIM16点）以上改善割合	30%以上	69.7%

「回復期リハビリテーション病棟入院料1」では、施設基準が高く設定されておりますが、当院の診療実績はそれを大きく超えて全体的に高い水準となっております。



医療法人社団 総生会 麻生リハビリ総合病院

発行：麻生リハビリ総合病院

〒215-0021 神奈川県川崎市麻生区上麻生 6-23-50

TEL (044)981-6878 / FAX (044)981-6871



第13号 院外広報誌

発行日：2023年10月1日

発行者：広報委員会

